

Code for Japan の 活動紹介

ともに考え、ともにつくる

一般社団法人コード・フォー・ジャパン

関 治之

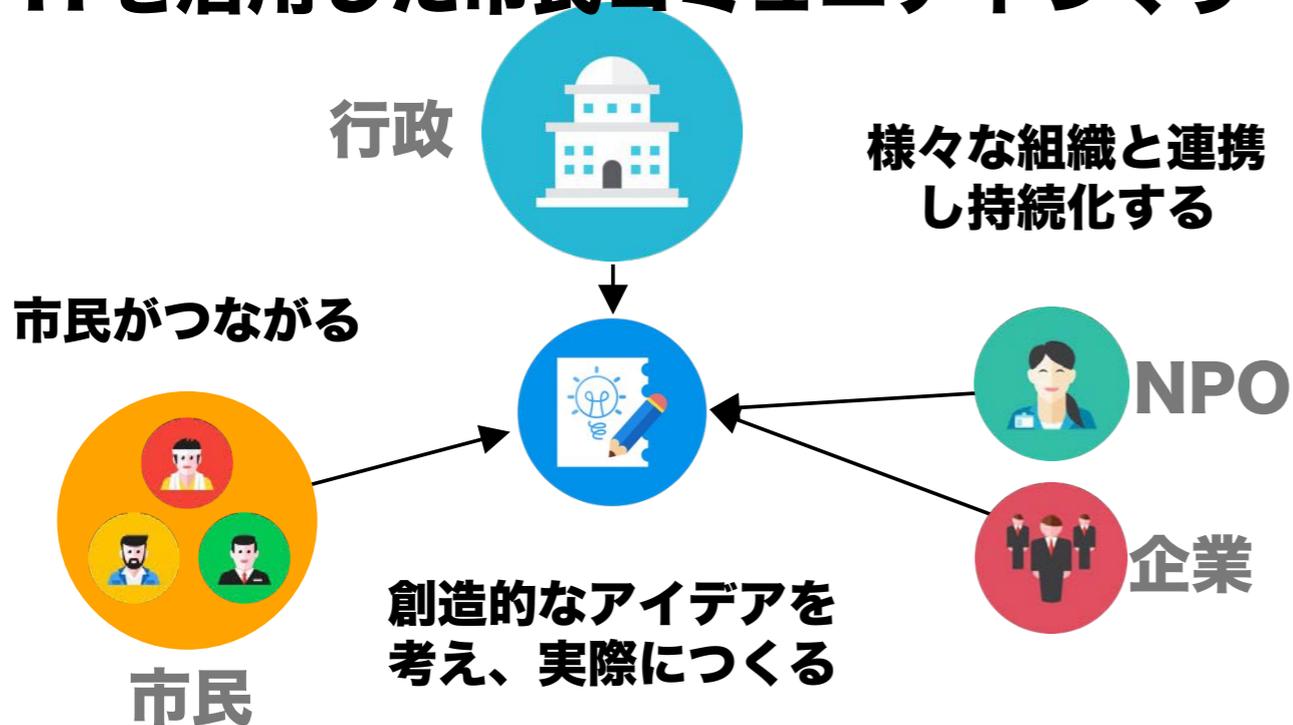
地域IoT実装推進タスクフォース 人材・リテラシー分科会



「ともに考え、ともにつくる」をコンセプトに、民間と行政が共に技術活用をしながら課題解決を行なっていく場作りを行う非営利団体です。

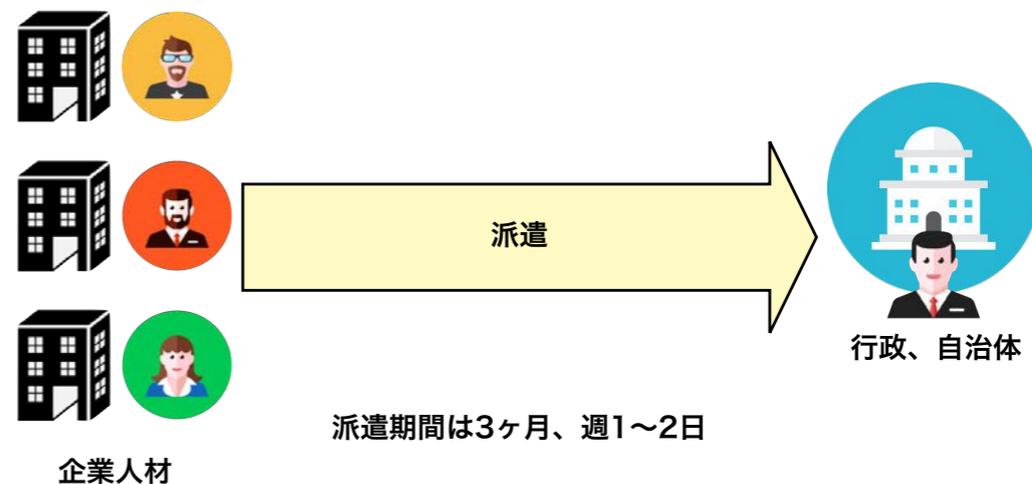
一般社団法人コード・フォー・ジャパン
代表理事：関 治之
副理事：高木 祐介
理事：白川 展之
有給スタッフ：2名
コアメンバー（ボランティア含む）：20名程

事業1 ITを活用した市民コミュニティづくり



事業2 組織の壁を超えて働ける越境人材作り

自治体内でプロジェクトラーニングを行う越境人材育成プログラム：
コーポレートフェローシップ



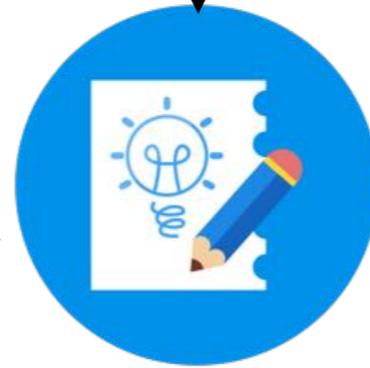
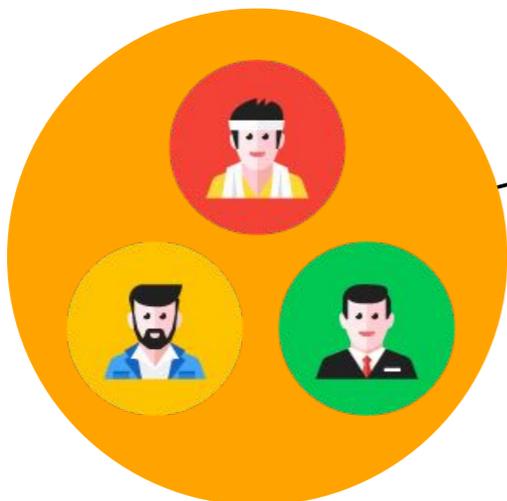
事業1
ITを活用した市民コミュニティづくり

行政

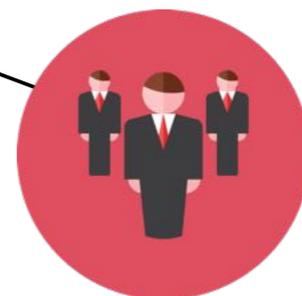


様々な組織と連携し持続化する

市民がつながる



NPO



企業

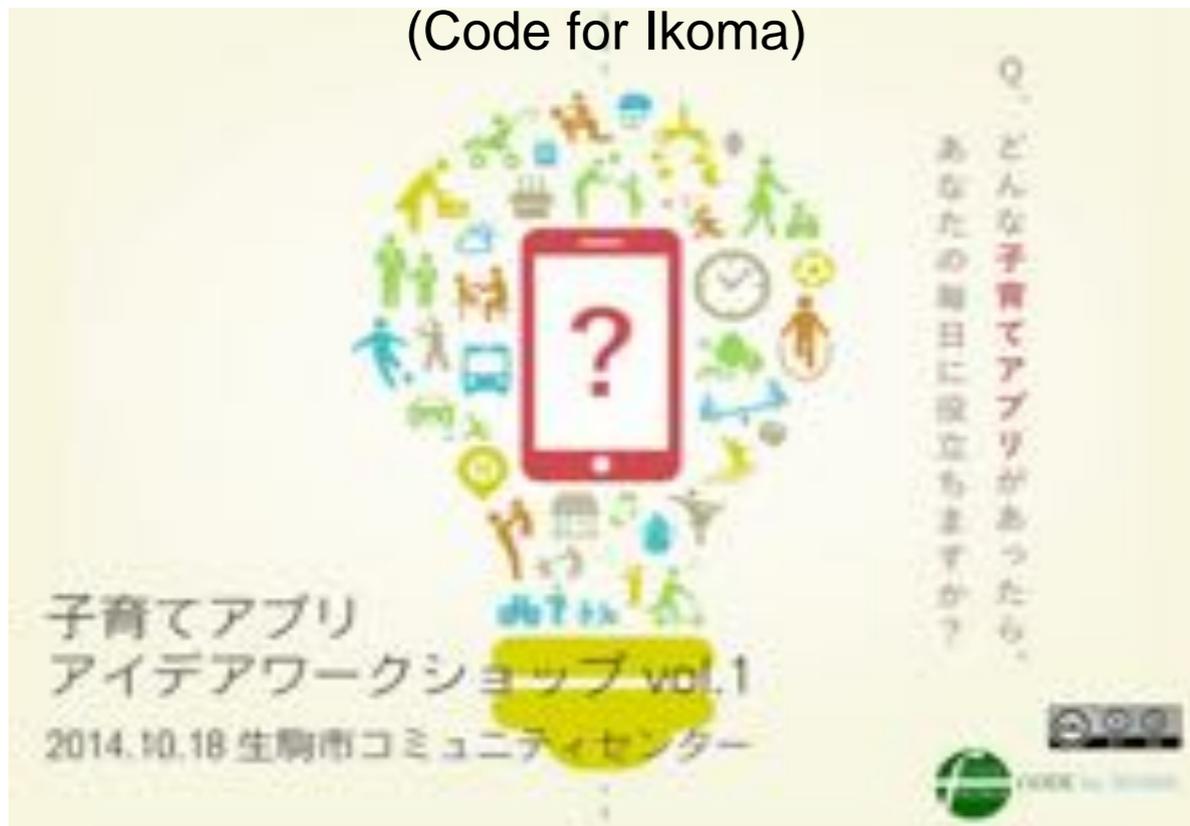
創造的なアイデアを考え、実際につくる

課題についてともに考え、解決策を実際に作る



子育てアプリアイデアワークショップ

(Code for Ikoma)



公共交通アイデアソン・ハッカソン

(Code for Nanto)



街歩きをして情報を集めるマッピングパーティ



NPOや行政と、町の課題について考える

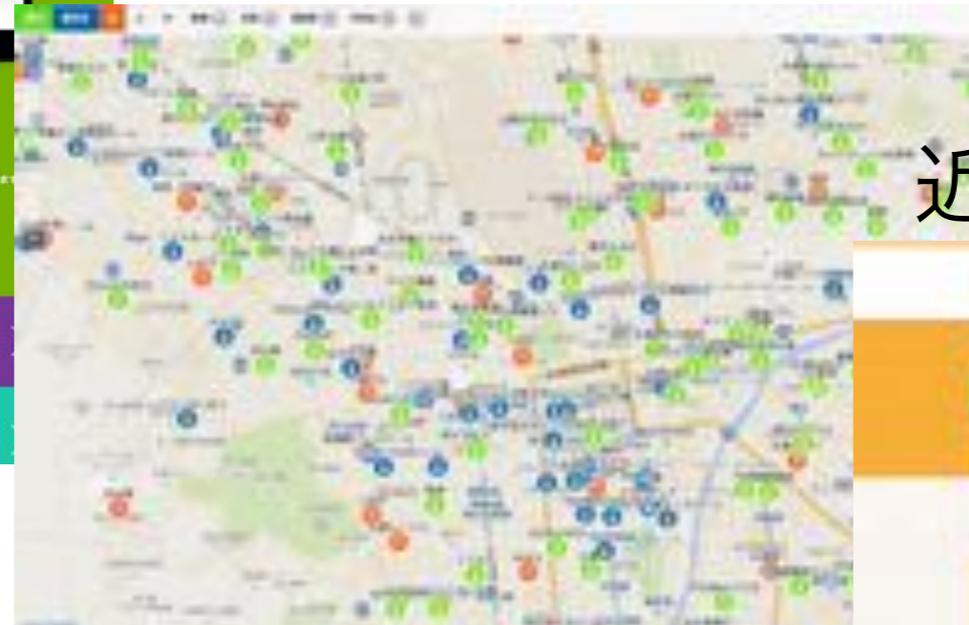


作ったものやアイデアを共有

ゴミの収集日を調べる



保育園を探せる



近くのお祭りを探せる



5374.JP

- ▶ ゴミを出す日が簡単に分かる
- ▶ Code for Kanazawa 発
- ▶ 全国80箇所以上に広がる
- ▶ 神戸市では、他言語版を展開

5374 (ゴミナシ).jp

「いつ、どのゴミが収集されているのか？」

ゴミの問題はどの地域でも深刻になりつつあります。Code for Kanazawaでは、まずは正しいゴミの捨て方に注目しました。例えばお引越先をされた場合や、新しく金沢市に住むことになった時、このアプリを使えばすぐに分かるように、目的と使い方をとてもシンプルにデザインしました。

(使い方)

- ・色でゴミのジャンルを表示
一番近いゴミの日とジャンルを上から順に表示しています。
- ・捨てる事が可能なゴミ
ゴミのジャンルをタップすると、捨てる事が可能なゴミの一覧が表示されます。
- ・設定
お住まいの地域を選択することで、ゴミ収集日が自動的に更新されます。今後スマートフォンのGPSから位置情報を取得する機能を追加予定です。

更新情報

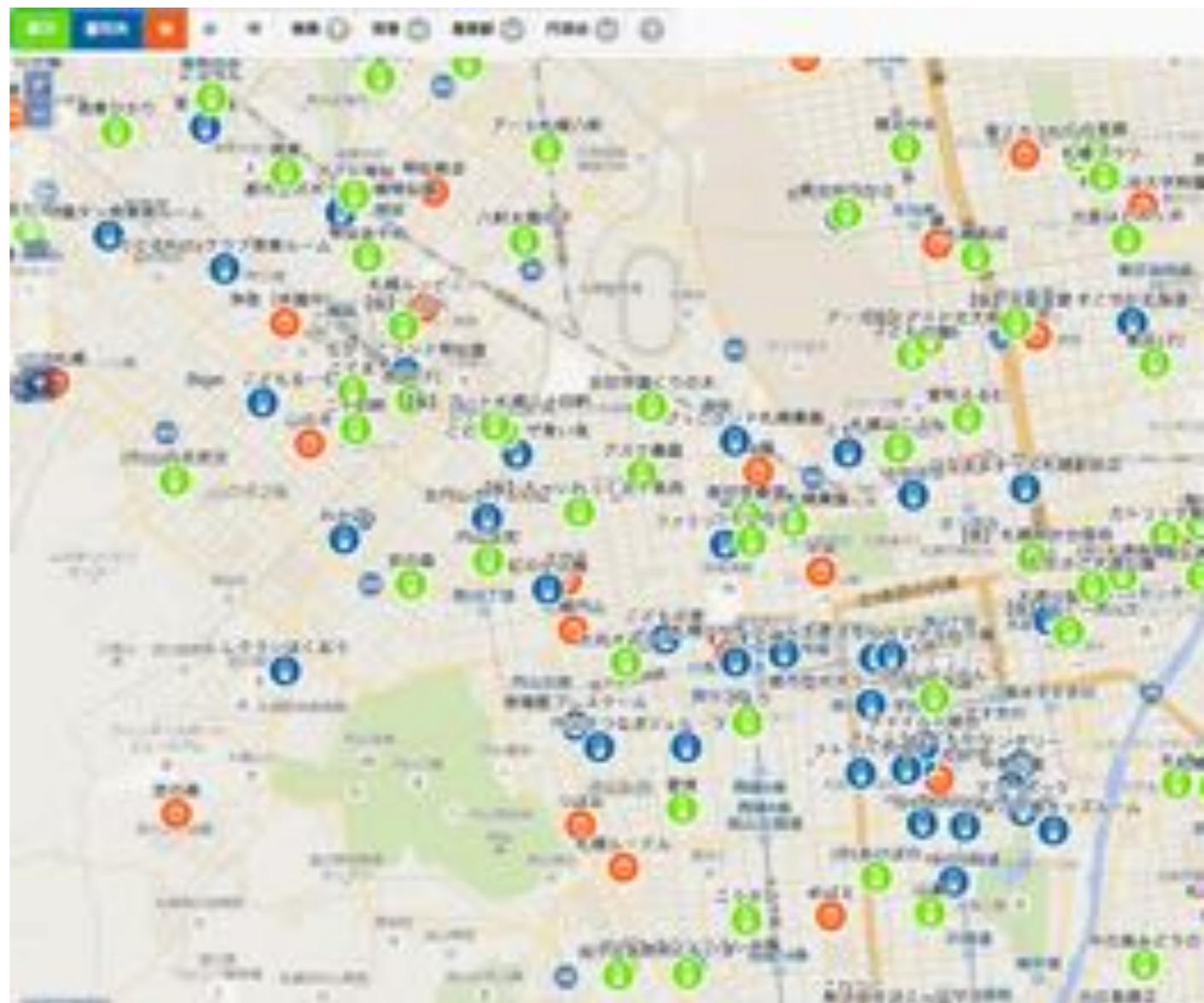
5374.jpに関する情報です。

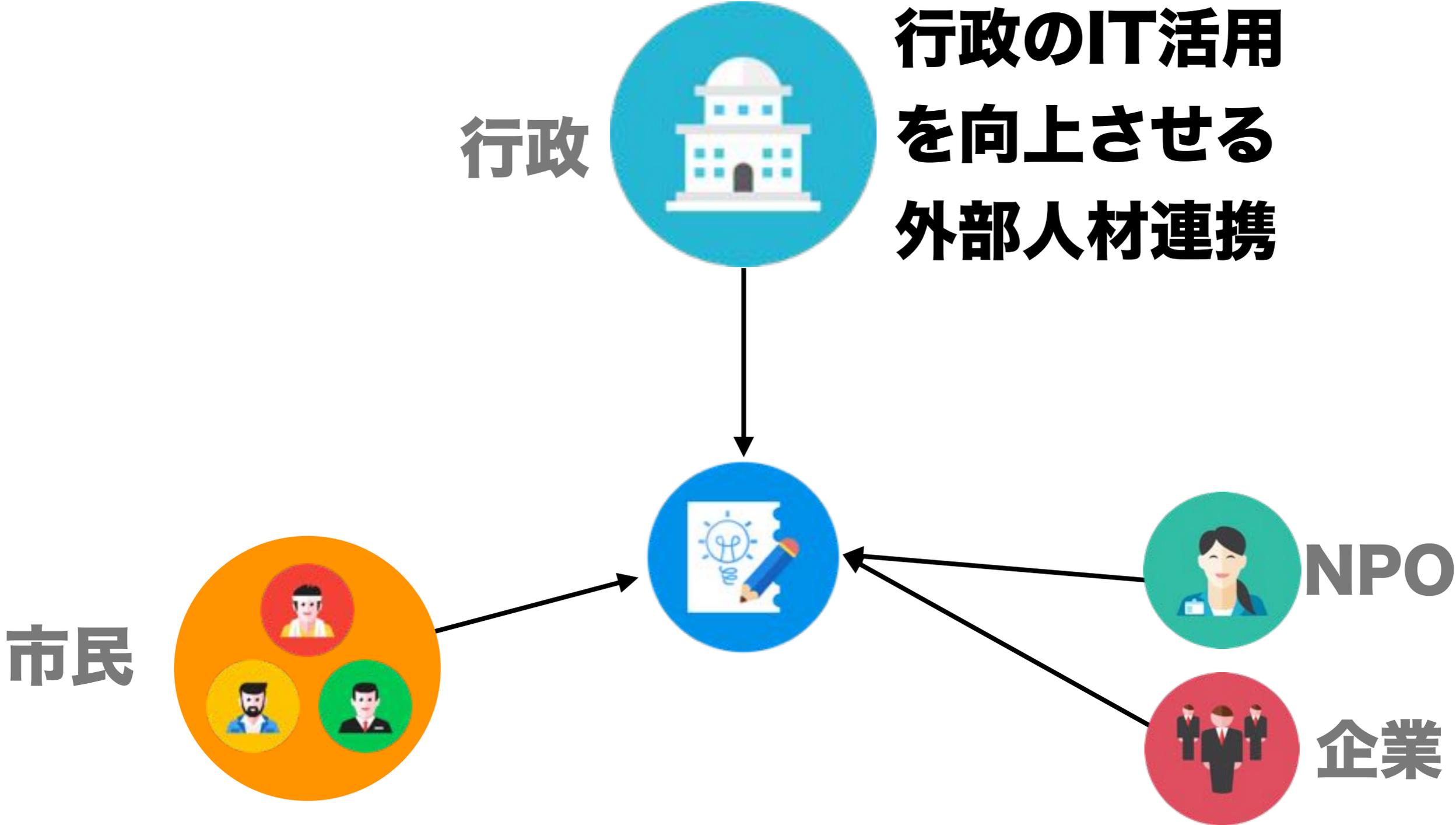
各地への広がり

2013年9月にCode for Kanazawaの手で誕生した5374.jpは、まず金沢市から始まりました。現在、金沢市のほか、各地へ広がりを果たしています。ぜひ、あなたの町でも5374.jpを展開してみませんか？

さっぽろ保育園マップ

- ▶ 検索条件を指定して、地図上から条件に合った保育園や幼稚園を探せる
- ▶ Code for Sapporo 発
- ▶ 部門横断的な情報集め
- ▶ 全国10箇所以上に広がる





企業と自治体が「ともにつくる」フェロローシップ

自治体が課題をオープンにし、企業が人材育成として社員を派遣。

3ヶ月間で課題に対してプロトタイピングを行う研修プログラム

※自治体は費用を出さない

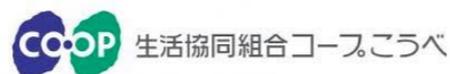


企業人材

派遣期間は3ヶ月、週1~2日

企業と自治体の壁を超え「ともに考える」人材を育成する

これまで、3自治体に対し、6社から8名のフェローが派遣されています。
自治体、企業双方にとって、組織の壁を越えた協働を生み出す良いきっかけ
になっています。



今年度の派遣先

7市に対し、4社から10名のフェローを派遣予定



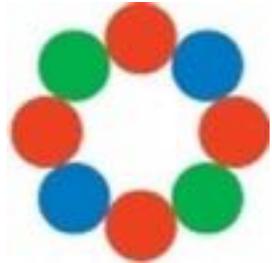
会津若松市



鯖江市



神戸市



南砺市



三田市



千葉市



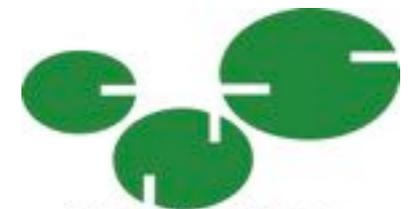
湯沢市

派遣元

YAHOO!
JAPAN

NEC
NECソリューションイノベータ

CO-OP 生活協同組合コープこうべ



株式会社シイエヌエス

1年間、高度IT人材を自治体に派遣

- ▶ 福島県浪江町のタブレット配布事業の調達サポートを実施



浪江町

4年間、2名が派遣され、利用率の高いアプリケーションを創出。

Code for Japan 自身もコンサルティングを実施

- ▶ 代表の関が、神戸市のチーフ・イノベーション・オフィサーに就任。（非常勤）



神戸市

スタートアップ育成やオープンデータ活用などを推進

市役所のオープン・イノベーションを推進

▶ スタートアップ育成

- ▶ 神戸でスタートアップ産業が根付く活動を推進

500 Startups（米アクセラレーター）の起業家育成プログラムのサポート

KOBE Global Startup Gateway：投資機会と育成支援プログラムの実施

▶ データ活用

- ▶ 職員向けのデータ活用ワークショップの実施（データアカデミー）

- ▶ オープンデータの公開、活用推進

地域の活性化には、地域から事業が生まれる環境作りが必要 CODE FOR JAPAN からの3つの提案

▶ 起業家の育成

地域コミュニティから事業が生まれる仕組み作りが理想
地域での投資が生まれる仕組みや、生きた起業家支援を

▶ 自治体の、データに基づいた政策決定支援

職員自身がデータ活用をし、データに基づいた政策決定をすることが重要。

積極的にデータを活用する仕組み作りを。チーフデータオフィサーといった外部人材の登用を推進したい

(Code for Japan では、神戸市のデータアカデミーの全国展開も予定)

▶ 自治体システム/アプリのオープンソース化の推進

自治体毎にバラバラに調達をしていては、コストがかさむばかり。5374.jp はオープンソースだから80箇所広がった。

ベンダーロック回避やオープンデータ活用にも繋がる



ともに考え、ともにつくる



contact: hal@code4japan.org